

第1回食肉の表示に関する検討会の概要について

- 1 日 時：平成18年8月31日（木） 13：30～15：45
- 2 場 所：東京都千代田区霞が関1-2-1 農林水産省第2特別会議室
- 3 出席者：委員（別紙参照）

4 議事概要

検討会の座長に沖谷委員が選出され、事務局より配布資料の説明が行われました。委員からの主な発言は以下のとおりでした。

生産者が生産した物がきちんと消費者に認識されるような表示とする必要。消費者の選択に資する、分かりやすい表示であることが重要。

表示を義務づけることは避け、消費者が自由に商品選択できるような表示となるよう整理すべき。

品種と原産地をセットで表示するのが分かりやすいのではないか。

「和牛」は我が国の貴重な遺伝資源、文化的資産であり、国産に限った表示とすべき。

「和牛」「黒豚」は、国産に限った表示とすることが望ましいが、具体的な表示のあり方はよく検討する必要。

「和牛」や「黒豚」に取り組んできた生産者が生産を継続できるような表示のあり方を検討してほしい。

食肉公正取引協議会の議論では、「和牛」については国産に限るべきとの意見が大半だが、「黒豚」については意見が分かれている。

加工品も含め、輸入食肉に依存している状況を前提に議論すべき。また、品種と産地は区別して議論すべき。

【お問い合わせ先】

生産局畜産部食肉鶏卵課食肉流通班

担当者：菊池、西口、佐藤

電 話：03-3502-8111（内線3994、3995、3996）

直 通：03-3501-3776

当資料のホームページ掲載先アドレス

<http://www.maff.go.jp/www/press/press.html>

「食肉の表示に関する検討会」委員名簿

(50音順、敬称略)

秋岡 榮子 経済エッセイスト

大木 美智子 消費科学連合会会長

小笠原 荘一 日本チェーンストア協会常務理事

沖田 速男 鹿児島県黒豚生産者協議会会長

沖谷 明紘 日本獣医生命科学大学名誉教授

小田 勝己 宮城大学食産業学部教授

川村 千里 肉用牛生産農家

神田 敏子 全国消費者団体連絡会事務局長

小林 喜一 全国食肉公正取引協議会専務理事

惣宇利 紀男 大阪市立大学大学院経済学研究科教授

武田 治明 (社)食肉加工協会品質規格委員

西迫 誠 鹿児島県農政部畜産課長